

吹田市第4次総合計画 基本計画(素案)

※追加諮問分※

平成30年1月30日

吹田市



## 《 目 次 》

### 基本計画

I. 施策体系図 .....	1
(省略)	
II. 政策・施策 .....	1
(省略)	
III. 市民意識指標(体系別) .....	1
(省略)	
IV. 基本計画推進のために .....	2
1. 基本計画の進行管理 .....	2
2. 個別計画による各分野の取組の推進 .....	4
3. 取組を進めるための3つの視点 .....	5
4. 財政運営の基本方針 .....	6
(参考)【附属資料】地域の特性 .....	8
1. 「地域の特性」について .....	8
2. 各地域の特性 .....	10
3. さまざまなデータで見る地域 .....	22



## I. 施策体系図

(省略)

## II. 政策・施策

(省略)

## III. 市民意識指標(体系別)

(省略)

## IV. 基本計画推進のために

### 1. 基本計画の進行管理

#### (1) PDCA サイクルによる進行管理

基本計画で示す政策・施策は、毎年度、具体的な事業を盛り込んだ実施計画を策定しながら、個別の事業によって実施されます。また、実施した事業の成果や進捗状況は、行政評価により把握・分析し、その評価結果を実施計画の策定に生かすことで、取組の改善や成果の向上を図ります。

そのような、Plan（計画） - Do（実施） - Check（評価） - Action（改善）のサイクル（PDCAサイクル）に沿って基本計画の進行管理を行い、効果的・効率的に取組を推進します。

図表 IV-1 PDCAサイクルによる進行管理の流れ



## (2) Check(評価)の考え方

基本計画では、各施策の到達目標を共有するとともに、その目標をどれだけ達成できているかを客観的に評価するための指標である「施策指標」を設定しています。施策指標を活用し、行政評価により基本計画の進行管理を行います。

また、施策指標とは別に、さまざまな施策や政策を実現することで向上をめざす「市民意識指標」を設定しています。市民意識指標については、基本計画の見直しの際などに、必要に応じて進捗状況を確認し、実施した取組の成果を、市民の意識や満足度などの観点から把握・分析するものとして活用します。

- 毎年度、行政評価により、実施した取組の成果や進捗状況を把握・分析します。その際、施策指標や新公会計制度の財務諸表などを十分に活用します。なお、行政の取組の成果は、数値や費用対効果だけで測ることは困難なものも多いため、数値では表せない成果等についても評価を行うよう留意する必要があります。
- 施策指標は、「成果指標」または「活動指標」のうち、取組の成果や進捗状況をできるだけわかりやすく、客観的に評価できるものを設定することとします。
  - ・ 成果指標…取組を行った結果、実現した成果を表す指標
  - ・ 活動指標…取組をどれだけ行ったか、活動量を示す指標
- 施策指標は、社会経済状況の変化や取組の進捗状況などを踏まえ、行政評価の際に、必要に応じてより適切な指標を再設定することとします。
- 基本計画の見直しや次期総合計画の策定の際、その他必要に応じて、市民意識指標の進捗状況を確認します。また、市民意識指標は、4年に1回を基本とする市民意識調査により調査を行います。

## 2. 個別計画による各分野の取組の推進

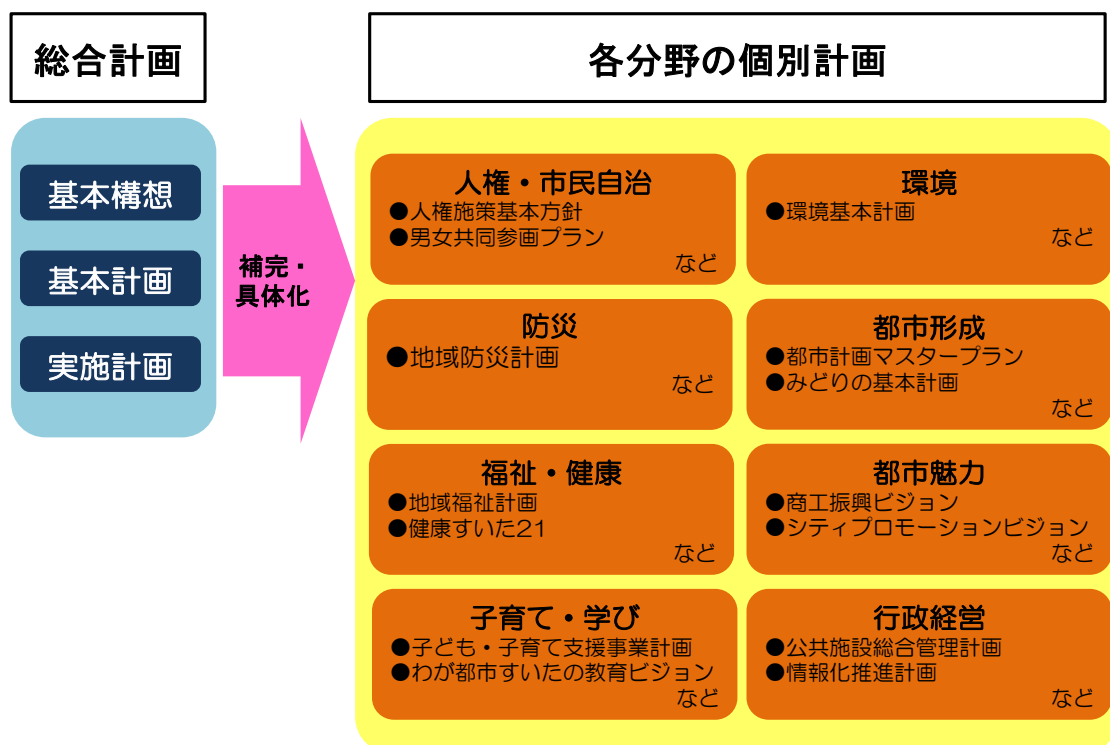
総合計画では、市のめざす将来像を示し、その実現に向けた各分野の目標や取組の方向性を政策・施策として示しています。

各分野において取組を実施するにあたっては、分野ごとの課題を詳細に整理したうえで、より具体的な施策や事業を検討します。そのため、必要に応じて、各分野の個別計画により総合計画の補完・具体化を行いながら、さまざまな取組を進めます。

また、個別計画の推進にあたっては、行政評価などの活用を図りながら、適切な進行管理を行うこととします。

- 各分野の個別計画では、対象となる分野の課題を整理し、目標や方針を掲げ、その実現に向けた具体的な取組などを示します。
- 取組を効果的・効率的に推進するため、個別計画は、次の内容を盛り込むことを基本とします。
  - ・ 計画の目標年次
  - ・ 取組の成果や進捗状況を測るための数値目標や指標
  - ・ PDCAサイクルによる進行管理の仕組み
  - ・ 取組を実施する部署及び連携を行う部署

図表 IV-2 総合計画と各分野の個別計画の関係





### **3. 取組を進めるための3つの視点**

さまざまな課題に対応し、効果的・効率的な取組を進めるためには、以下の3つの視点から取組を行うことが重要です。

#### **(1) 分野を超えた連携**

総合計画では、分野ごとに取り組むべき施策を体系化して示しています。しかし、実際の市民生活における問題や課題は、複数の行政分野にわたる複雑な要因から生じている場合があり、1つの行政分野における取組だけで解決できるとは限りません。そのような課題に的確に対応し、より効果的な取組を行うため、分野横断的な連携に努めます。

#### **(2) 市民と行政との協働**

多様化・複雑化している課題や市民ニーズにきめ細かく対応するためには、地域で活動するさまざまな団体や大学、事業者、行政がお互いの特性と強みを生かしながらかちづくりを進めることが重要です。まちづくりのあらゆる場面において、多様な市民の参画を促進するとともに、公益的な活動の担い手の拡大を図るなど、これまで以上に、市民と行政との協働の促進に努めます。

#### **(3) 地域の特性を生かしたまちづくり**

本市は、歴史的な面影を残す地域や、計画的に住宅開発や道路・公園などの整備が進められた地域、工業や商業が集積する地域など、さまざまな特性をもった地域から成り立っています。地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを進めるとともに、さまざまな課題を解消していくため、地域ごとの特性や課題を把握することが重要です。

地域の実情に応じた圏域設定を行い、地域の特性や課題を把握・分析しながら取組を進めるなど、地域の特性を生かしたまちづくりに努めます。なお、圏域設定は、小学校区単位や、一定の生活圏域を広域的に区分するブロック単位などを、柔軟に組み合わせて行うこととします。

## 4. 財政運営の基本方針

### (1) 財政運営の基本方針

今後、少子高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増大や、公共施設の老朽化対策に要する経費の増大などにより、財政状況が厳しくなっていくことが見込まれます。そのような中でも、財政の健全性の維持と将来への必要な投資の両立を図ることが重要です。

そのため、効果的・効率的な事業展開を行うとともに、新たな課題や市民ニーズに的確に対応できるよう、事業の選択と集中を図りながら弾力性のある財政構造の維持・向上に努めます。また、本市の魅力や強みが増すようなまちづくりを進めるための必要な投資を行いながら、将来世代に過度な財政負担を残さないよう計画的な財政運営を行います。

### (2) 目標

#### ① 経常収支比率

弾力性のある財政構造を確保する観点から、経常収支比率は95%以下を目標とします。

#### ② 財政調整基金の残高

将来の財政需要や急激な経済情勢の変化、大規模災害の発生などに備える観点から、財政調整基金の残高については概ね100億円を確保することを目標とします。

#### ③ 市債管理

将来世代への過度な財政負担の抑制と必要な投資との両立を図る観点から、適正な市債管理に努めます。

- 公債費比率は10%以下とします。
- 市債残高は、標準財政規模以下とします。
- 臨時財政対策債などの赤字地方債については、発行を極力抑制します。

※公債費比率…標準財政規模に対する公債費の割合とします。

(算出式：公債費比率[%]＝公債費／標準財政規模×100)

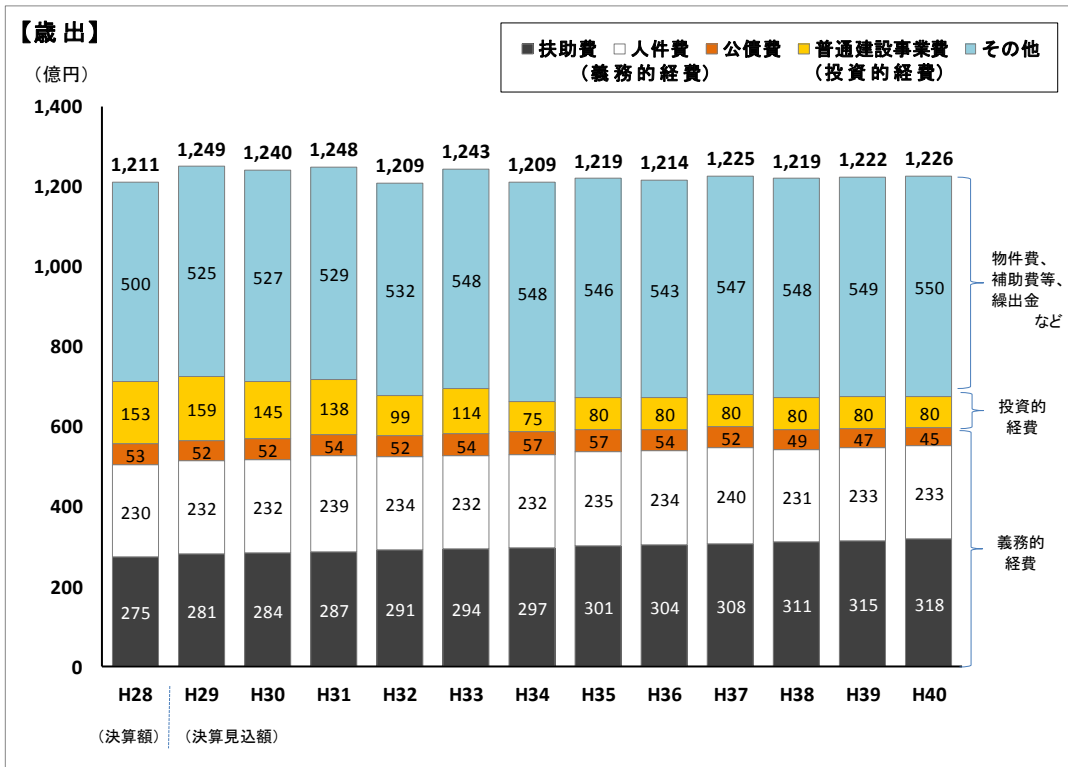
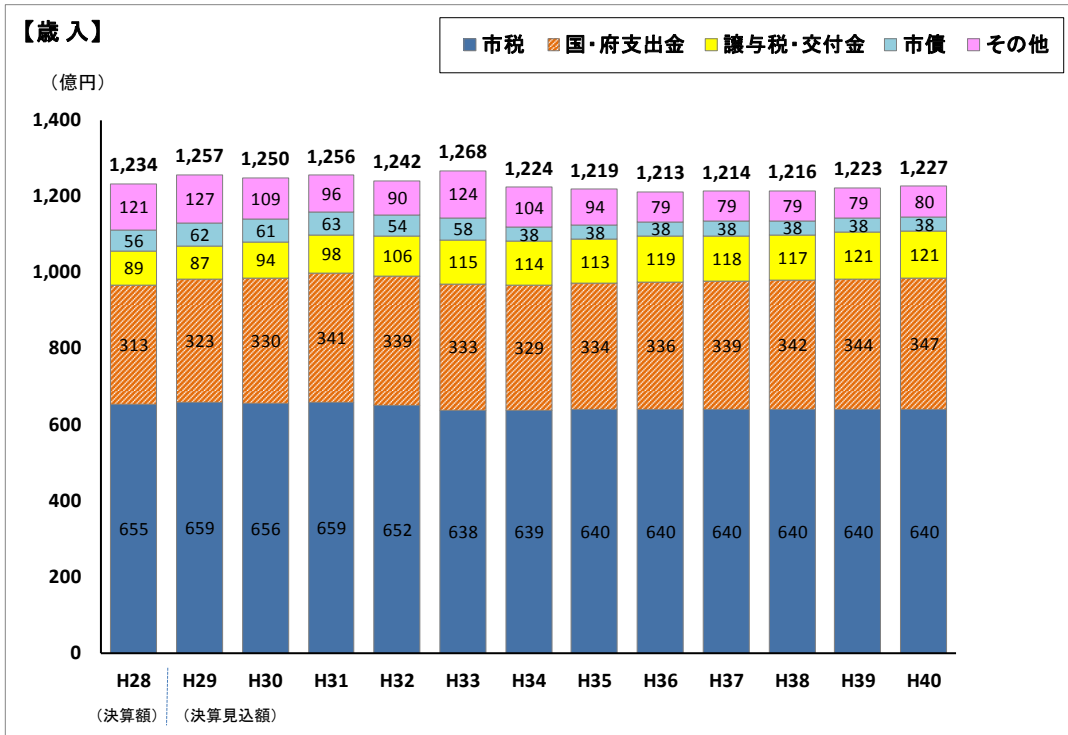
※標準財政規模…約701億円(平成28年度決算)

### (3) 収支見通し(試算)

今後の財政運営の参考とするため、平成40年度までの財政収支について試算しました。

試算にあたって、地方財政制度や社会保障制度などの将来的な制度変更を予測するのは困難であるため、原則、現行制度が今後も継続するものと想定し、将来人口の推計や過去の実績などを勘案しました。

図表 IV-3 収支見通し(一般会計)



	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
差引額 (歳入合計-歳出合計)	23	9	10	9	33	25	15	0	△ 1	△ 11	△ 3	1	1
補てん額 (財政調整基金の取崩額)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	3	0	0
補てん後の差引額	23	9	10	9	33	25	15	0	0	0	0	1	1

[億円]

資料：吹田市「吹田市第4次総合計画『財政運営の基本方針』の検討資料」から

## (参考)【附属資料】地域の特性

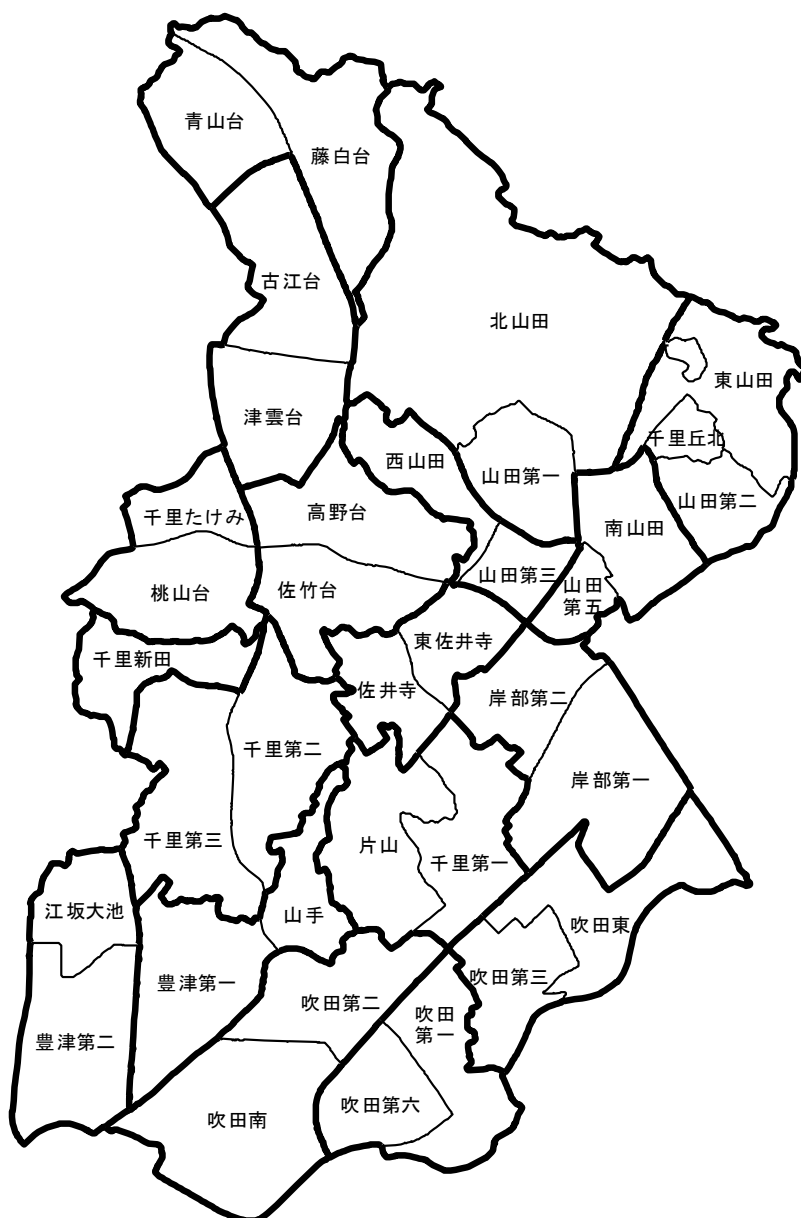
### 1. 「地域の特性」について

本市は、地域ごとにさまざまな特性をもち、それぞれの地域が抱える課題にも違いがあります。地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを進めるとともに、さまざまな課題を解消していくため、地域ごとの特性や課題を把握・分析する必要があります。また、さまざまな取組を進めるにあたっては、必要に応じて、小学校区単位やブロック単位など、地域の実情に応じた圏域設定を検討する必要があります。

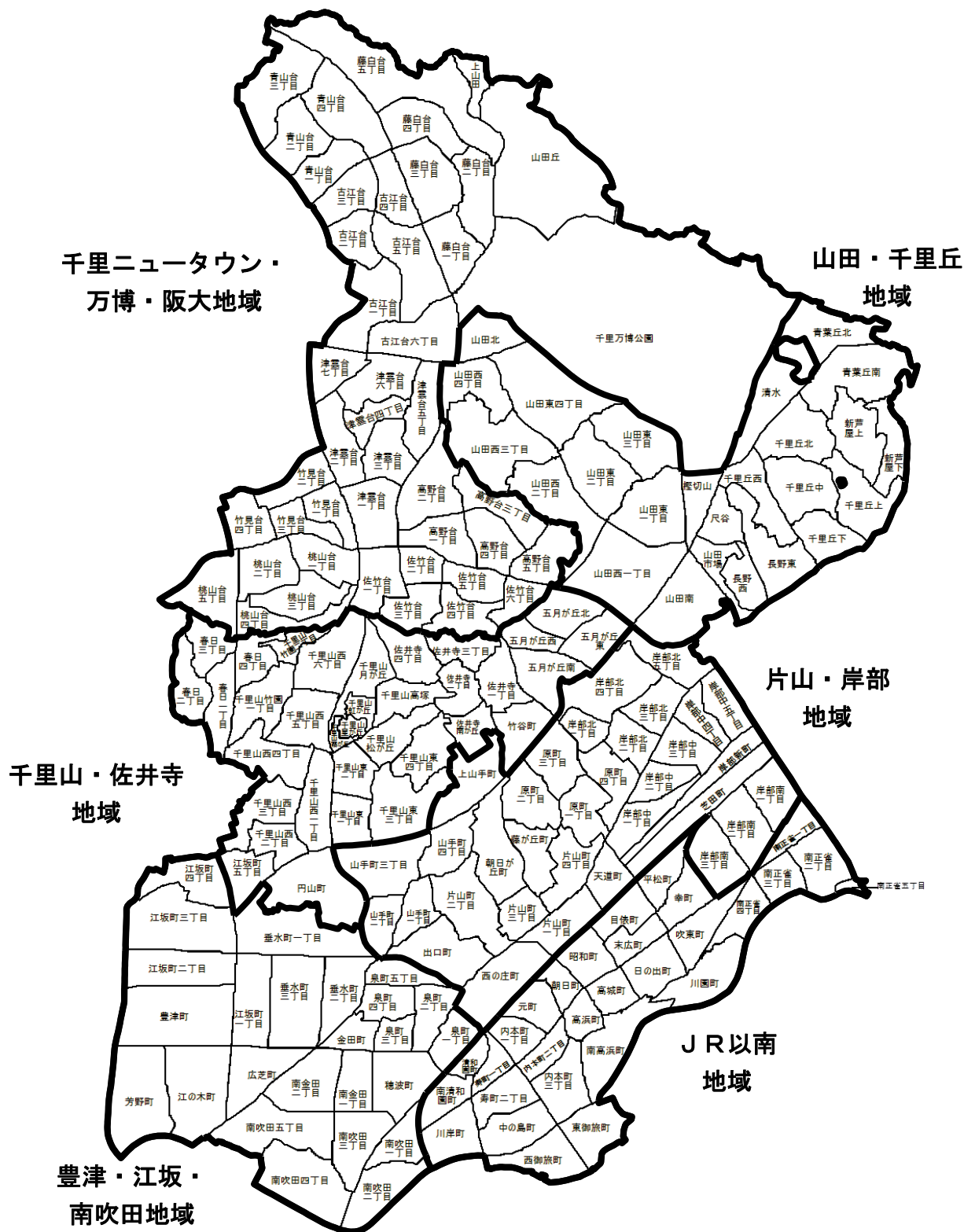
ここでは、参考として、市域を一定の生活圏域などを考慮した6つのブロックに分けて、各地域の特性を示しています。

■地域の分け方の例（小学校区及び中学校区）

小学校区	中学校区
千里第二小学校	第一中学校
千里第三小学校	
岸部第一小学校	第二中学校
岸部第二小学校	
吹田第一小学校	第三中学校
吹田第六小学校	
吹田第三小学校	第五中学校
吹田東小学校	
吹田第二小学校	第六中学校
吹田南小学校	
千里第一小学校	片山中学校
片山小学校	
佐井寺小学校	佐井寺中学校
東佐井寺小学校	南千里中学校
千里新田小学校	
豊津第一小学校	豊津中学校
山手小学校	
豊津第二小学校	豊津西中学校
江坂大池小学校	
山田第五小学校	山田中学校
南山田小学校	
山田第三小学校	西山田中学校
西山田小学校	
山田第一小学校	山田東中学校
北山田小学校	
山田第二小学校	千里丘中学校
東山田小学校	
千里丘北小学校	高野台中学校
佐竹台小学校	
高野台小学校	青山台中学校
藤白台小学校	
青山台小学校	竹見台中学校
桃山台小学校	
千里たけみ小学校	古江台中学校
津雲台小学校	
古江台小学校	



■地域の分け方の例（6つのブロック）





## 2. 各地域の特性

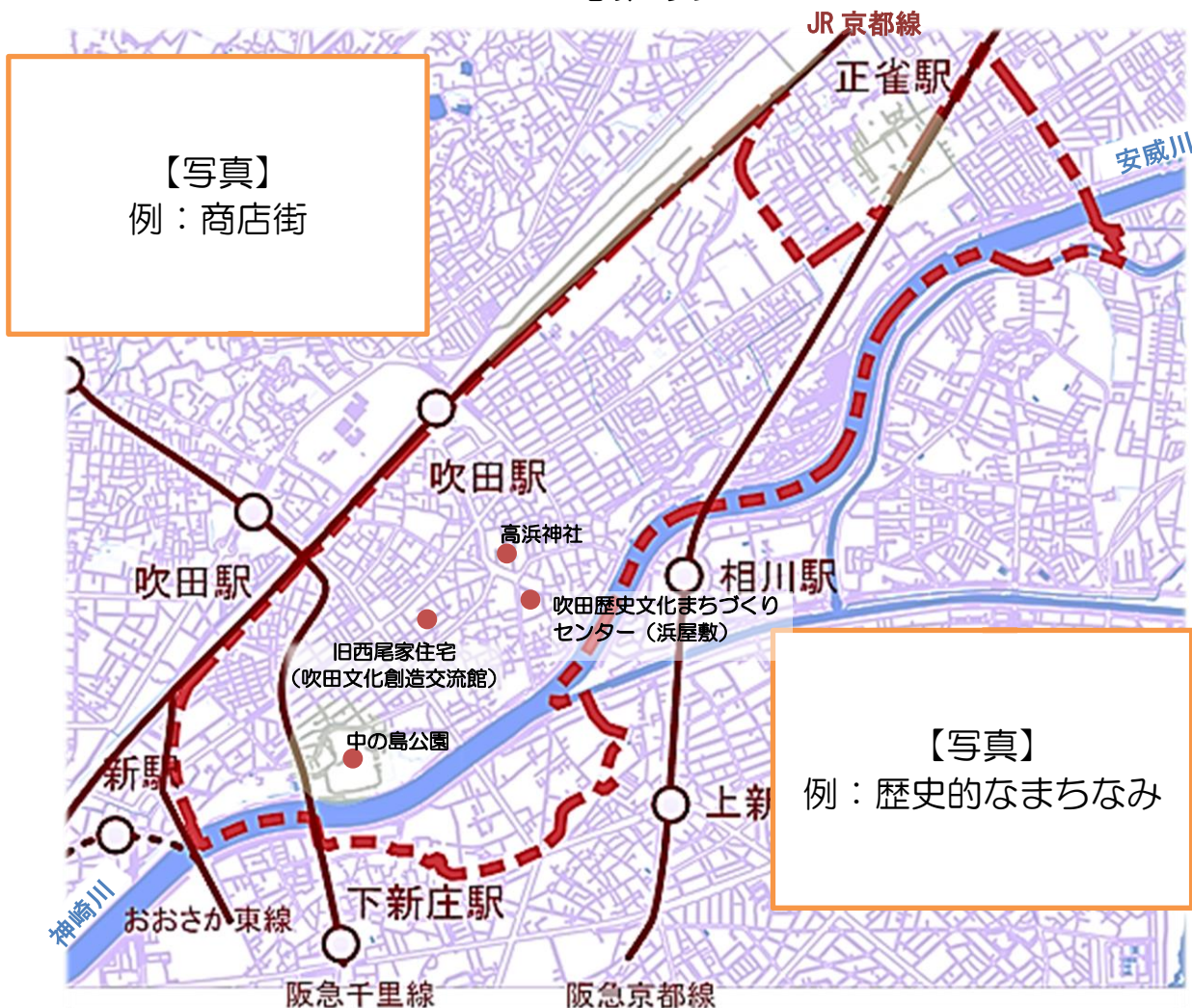
### (1) JR 以南地域

この地域は、安威川や神崎川を隔てて大阪市と接し、水運に恵まれていたことから、交通の要衝として発展し、市内でも早くから開けてきた地域です。

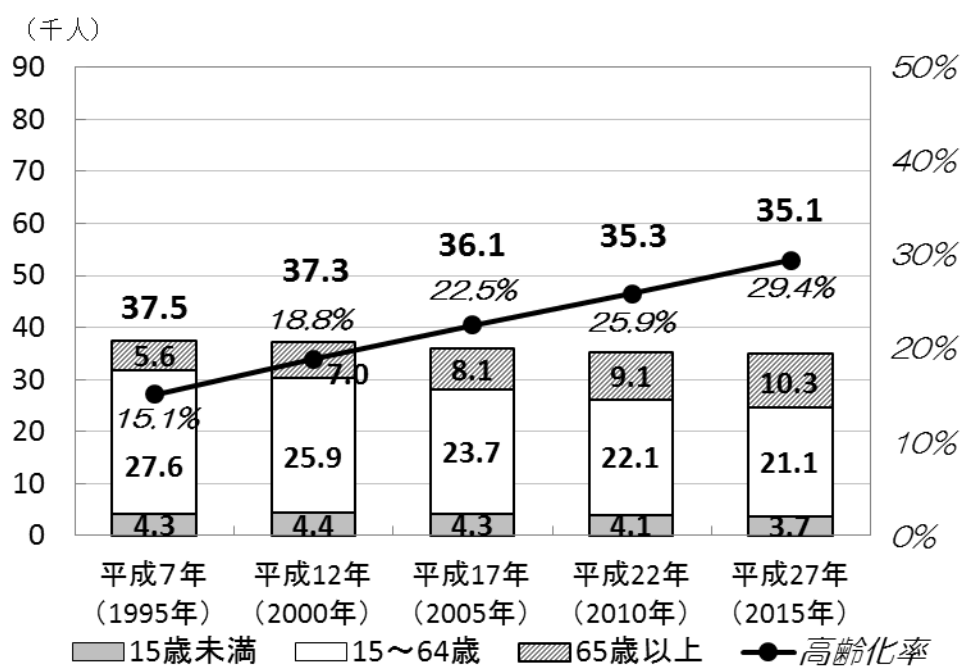
吹田発祥の地と言われ、旧集落のまちなみや高浜神社などの由緒ある寺社など、歴史的な風情が地域内の各所に残っています。吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）や旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）を中心に、歴史・文化資源を活用したさまざまな取組が行われています。JR 吹田駅付近には、商店街や商業施設などが立地しています。神崎川沿いには、製造業を中心とする大規模工場や、スポーツグラウンドのある中の島公園が立地しています。また、神崎川・安威川沿いは貴重なみどりと水辺の空間となっています。

人口は減少傾向にあり、高齢化率は市内の他の地域と比べて高い水準となっています。

■地域マップ



■年齢3区分人口及び高齢化率の推移



(資料) 総務省「国勢調査」から作成

## (2) 片山・岸部地域

この地域は、古来より丘陵の斜面と豊富で良質な粘土を用いて窯業が営まれ、平安京などの造営に使われた瓦の産地であったことが知られています。明治・大正期には、ビール工場や国鉄吹田操車場が設けられ、当時の吹田を「ビールと操車場のまち」とイメージさせました。昭和に入ると、大阪高槻京都線（産業道路）の開通を機に、商店街が形成され、付近の丘陵部は住宅地として発展しました。

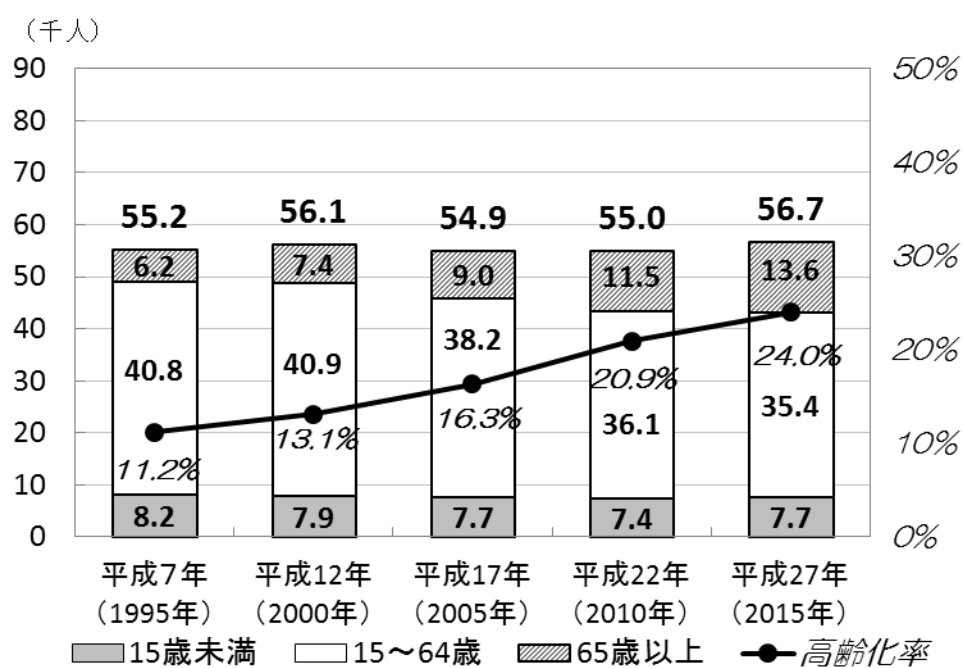
泉殿宮や吉志部神社、吉志部瓦窯跡など、数々の歴史的建築や文化財、史跡などが残されています。南西部の片山公園周辺には、中央図書館や片山市民体育館などの公共施設が集積しているほか、大和大学の開学や商業施設の開業により、新たなにぎわいをみせています。東部には、大阪学院大学が立地しています。また、吹田操車場跡地では、国立循環器病研究センターを中心とした国際級の複合医療産業拠点の形成など、北大阪健康医療都市（健都）の整備が進められており、まちなみが大きく変わりつつあります。

人口は 20 年間、ほぼ横ばいで推移しています。また、高齢化率は市内の他の地域と比べてやや高い水準となっています。





■年齢3区分人口及び高齢化率の推移



(資料) 総務省「国勢調査」から作成

### (3) 豊津・江坂・南吹田地域

この地域は、地下水が豊富で、垂水神社など水にゆかりのある歴史的資源が多く残っています。また、垂水南遺跡などの遺跡からは、古代より広域的に交流があったことがうかがえます。千里ニュータウンの開発等を機に、新御堂筋や地下鉄御堂筋線の延伸整備が進むとともに、江坂駅周辺等の土地区画整理事業により道路や公園などが整備されました。

現在は、江坂駅を中心に北大阪の都心的なまちとして発展しており、卸売・小売業などの店舗や企業が集積するほか、単身者向けのマンションが多く立地しています。一方、その周辺には旧集落の面影を残すまちなみ、北部には閑静な住宅地が形成されています。東部には市役所や文化会館（メイシアター）、南部の神崎川沿いには大規模な工場が集積しています。南部では現在、JR おおさか東線の新駅の設置に併せて、駅前広場や都市計画道路などの整備が進められています。また、高川や糸田川沿いは、貴重なみどりと水辺の空間となっています。

人口は増え続けており、生産年齢人口の割合が市内で最も高く、高齢化率は市内で最も低い地域となっています。

■地域マップ



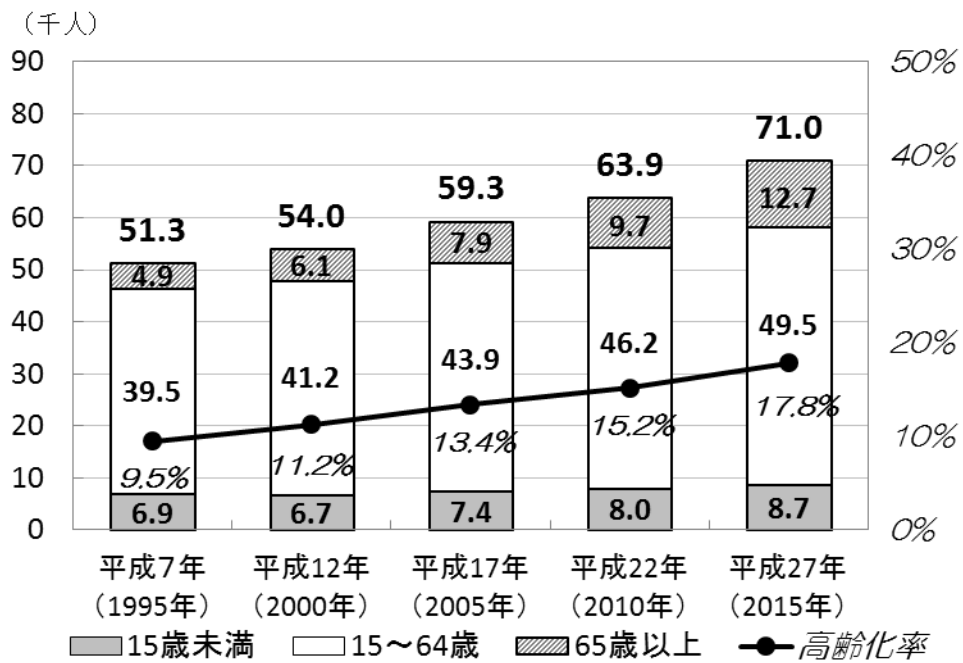
【写真】

例：旧集落のまちなみ

【写真】

例：江坂駅周辺のまちなみ

■年齢3区分人口及び高齢化率の推移



(資料) 総務省「国勢調査」から作成

#### (4) 千里山・佐井寺地域

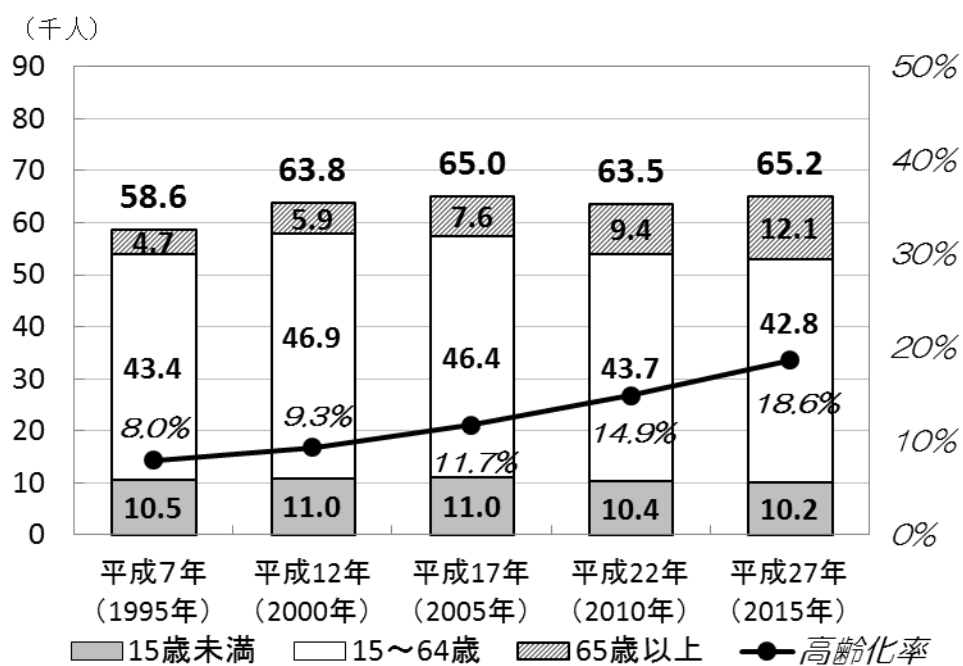
この地域は、古くから千里丘陵の尾根筋や谷筋に集落が形成され、歴史的なまちなみ、佐井寺伊射奈岐神社や佐井寺、春日神社など歴史的資源が数多く残されています。

中央部の千里山地区は、大正末期の北大阪電気鉄道（現在の阪急千里線）の開通に伴う開発により、閑静な住宅街として発展してきました。近年、千里山駅東側は再整備され、千里山コミュニティセンターや商業施設が開業しました。また、関西大学の周辺には、学生向けのにぎわいのある商業地が形成されてきました。東部の佐井寺地区では、古くからの趣を残す市街地に加えて、土地区画整理事業により道路や公園などが整備され、新しい住宅が多く建設されました。

また、人口はゆるやかな増加傾向で、高齢化率は市内の他の地域と比べて低い水準となっています。



■年齢3区分人口及び高齢化率推移



(資料) 総務省「国勢調査」から作成



## (5) 山田・千里丘地域

この地域は、山田川や旧小野原街道沿いに古くから大きな集落が形成されており、旧家や由緒ある紫雲寺、圓照寺、山田伊射奈岐神社、太鼓神輿や権六おどりなど、有形、無形の歴史的資源が数多く残されています。

西部の山田西地区では、マンションや住宅団地の建設により急速に市街化が進みました。地域活動が盛んで、ヒメボタルの保存活動なども行われています。山田駅周辺には、商業施設や、子育て青少年拠点夢つながり未来館（ゆいびあ）が立地しています。東部の千里丘地区では企業の厚生施設などが多く立地していましたが、住宅地へ変化している場所が多く見られます。大規模マンションの開発なども進められ、多くのファミリー世帯の転入により児童数が増加し、新たに千里丘北小学校が開校しました。

人口は、開発により住宅供給が進んだことから、平成 17 年からは増加が続いています。また、高齢化が急速に進んでいます。

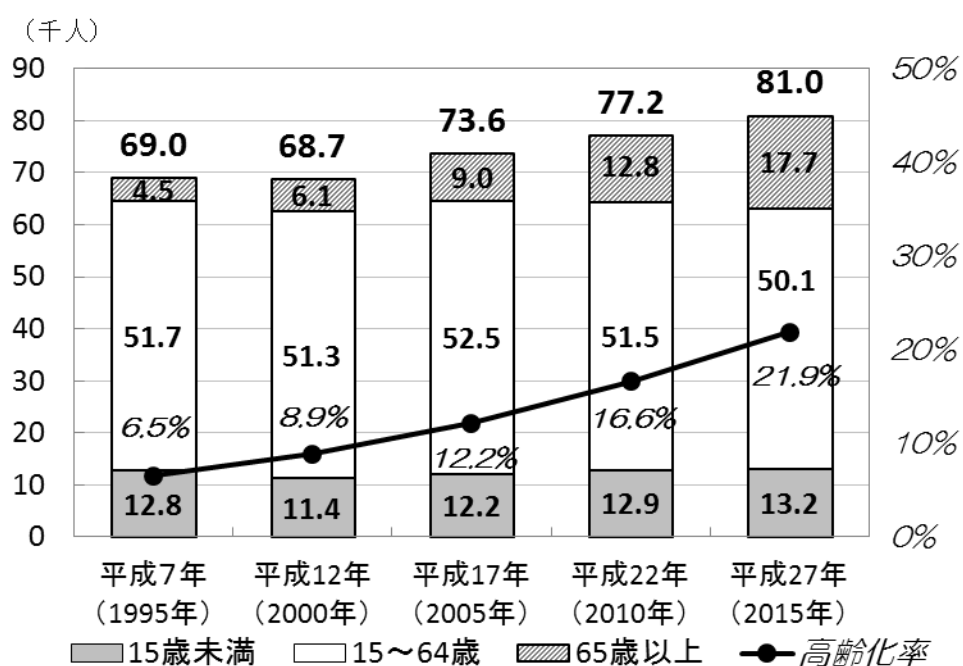
### ■地域マップ



【写真】  
例：山田駅周辺  
のまちなみ

【写真】  
例：千里丘のまちなみ

■年齢3区分人口及び高齢化率推移



(資料) 総務省「国勢調査」から作成

## (6) 千里ニュータウン・万博・阪大地域

この地域は、竹林と雑木林の広がる丘陵地でしたが、昭和 30 年代から約 10 年にわたる大規模なニュータウン開発や、大阪大学の移転、万国博覧会の開催を経て、現在では、みどり豊かで計画的に整備されたまちなみが広がっています。

千里ニュータウンは、集合住宅と戸建住宅による住宅地、地区センターや近隣センターの商業地をはじめ、道路や公園などの公共空間が計画的に整備され、落ち着いた住宅地として成熟したまちとなっています。ニュータウン建設から半世紀以上が経過し、老朽化した公的住宅の集約建替が進むとともに、余剰地へのマンション開発が行われています。北部から中部にかけては、大阪大学や千里金蘭大学、理化学研究所が立地しています。万博記念公園には、国立民族学博物館など文化・学術・研究施設や、さまざまなスポーツ・レクリエーション施設などが立地するほか、近年、市立吹田サッカースタジアムや大規模な商業施設が開業し、市内外から多くの人が集まるにぎわいのあるエリアとなっています。

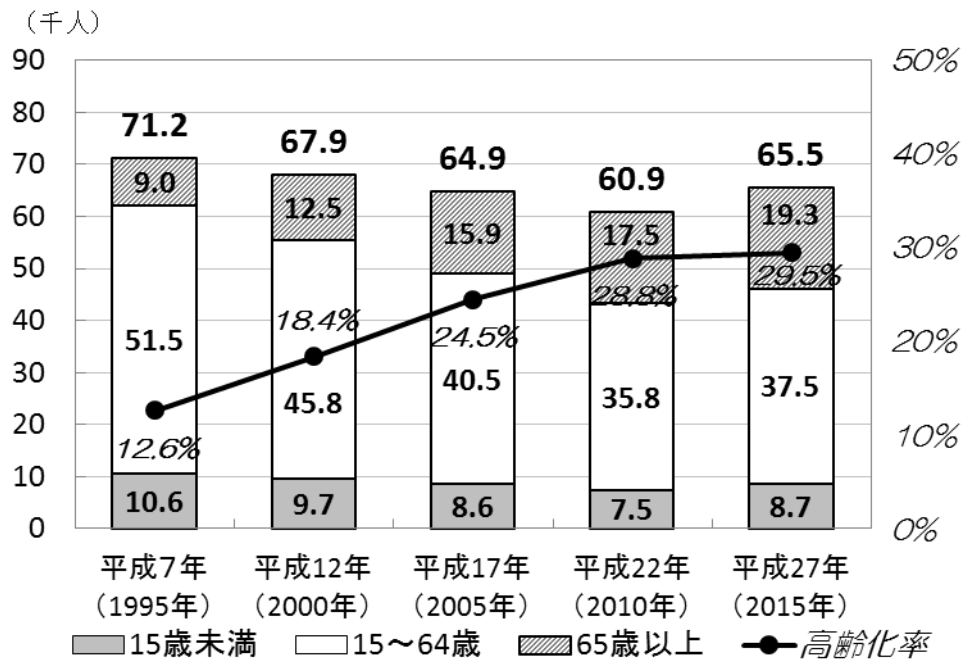
人口は減少傾向にありましたが、再開発による住宅供給が進み、平成 27 年には大幅な増加に転じています。また、高齢化率は市内の他の地域と比べて高い水準となっています。

### ■地域マップ





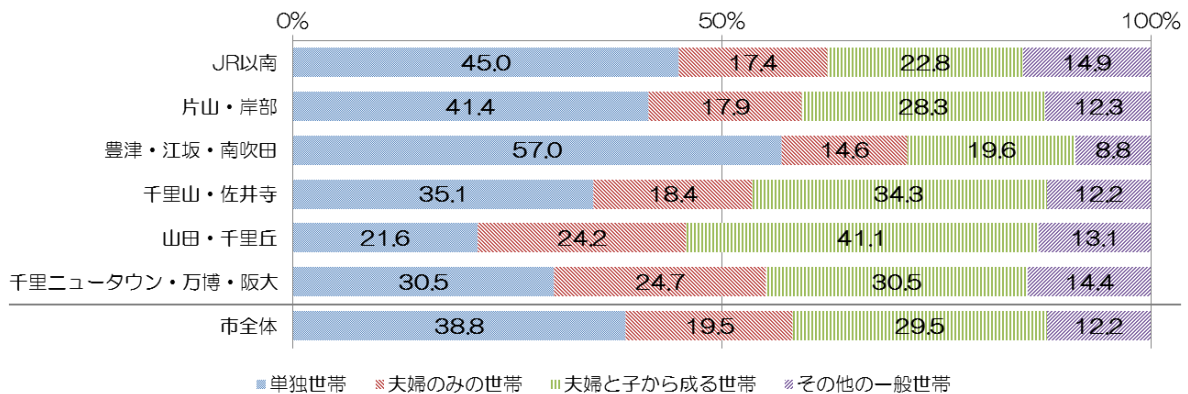
■年齢3区分人口及び高齢化率の推移



(資料) 総務省「国勢調査」から作成

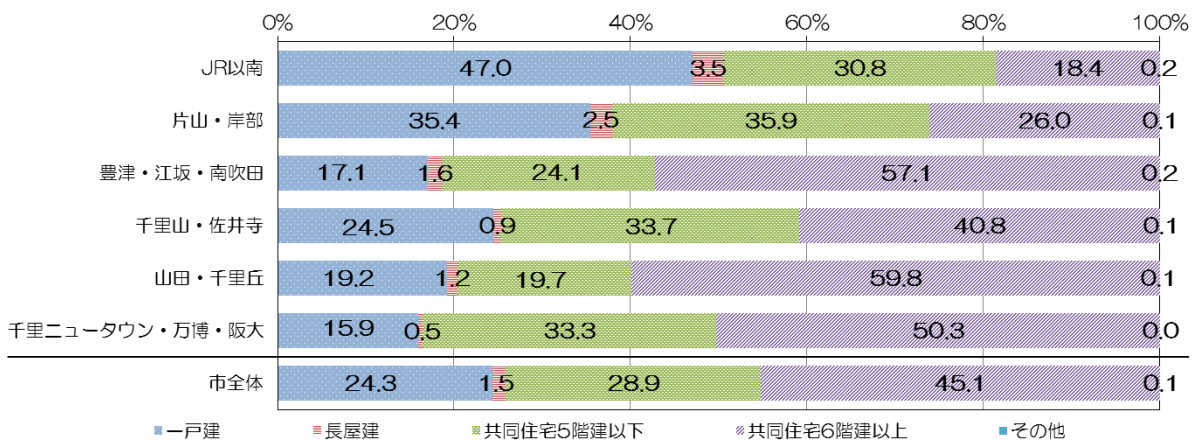
### 3. さまざまなデータで見る地域

#### ■世帯類型別世帯数の割合



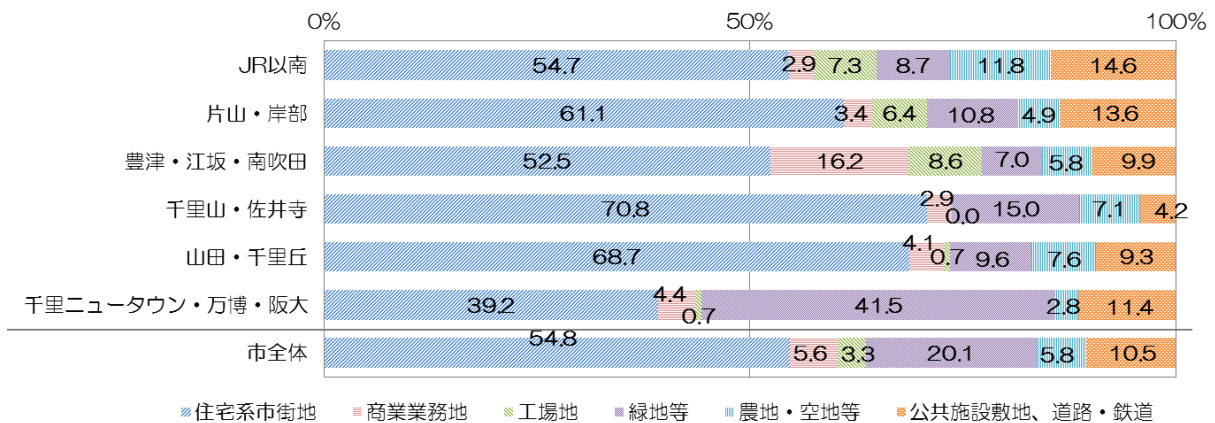
(資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」から作成

#### ■住宅の建て方別世帯数の割合



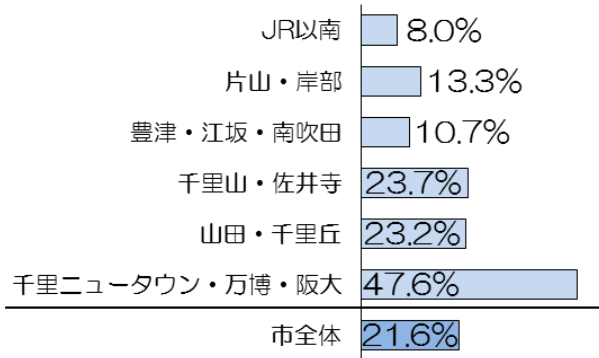
(資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」から作成

#### ■土地利用状況



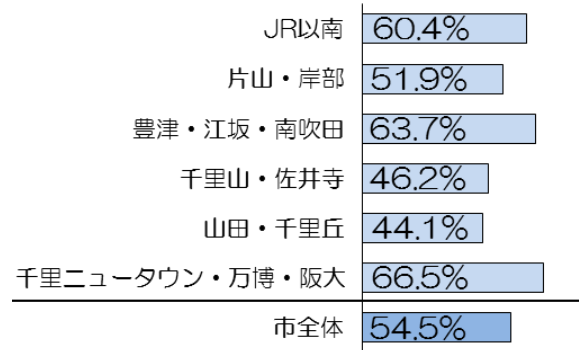
(資料) 吹田市「平成 27 年都市計画基礎調査」から作成

■緑被率



(資料) 吹田市「吹田市第2次みどりの基本計画(改訂版)」(平成28年)から作成

■公共交通網の便利さに満足している市民の割合



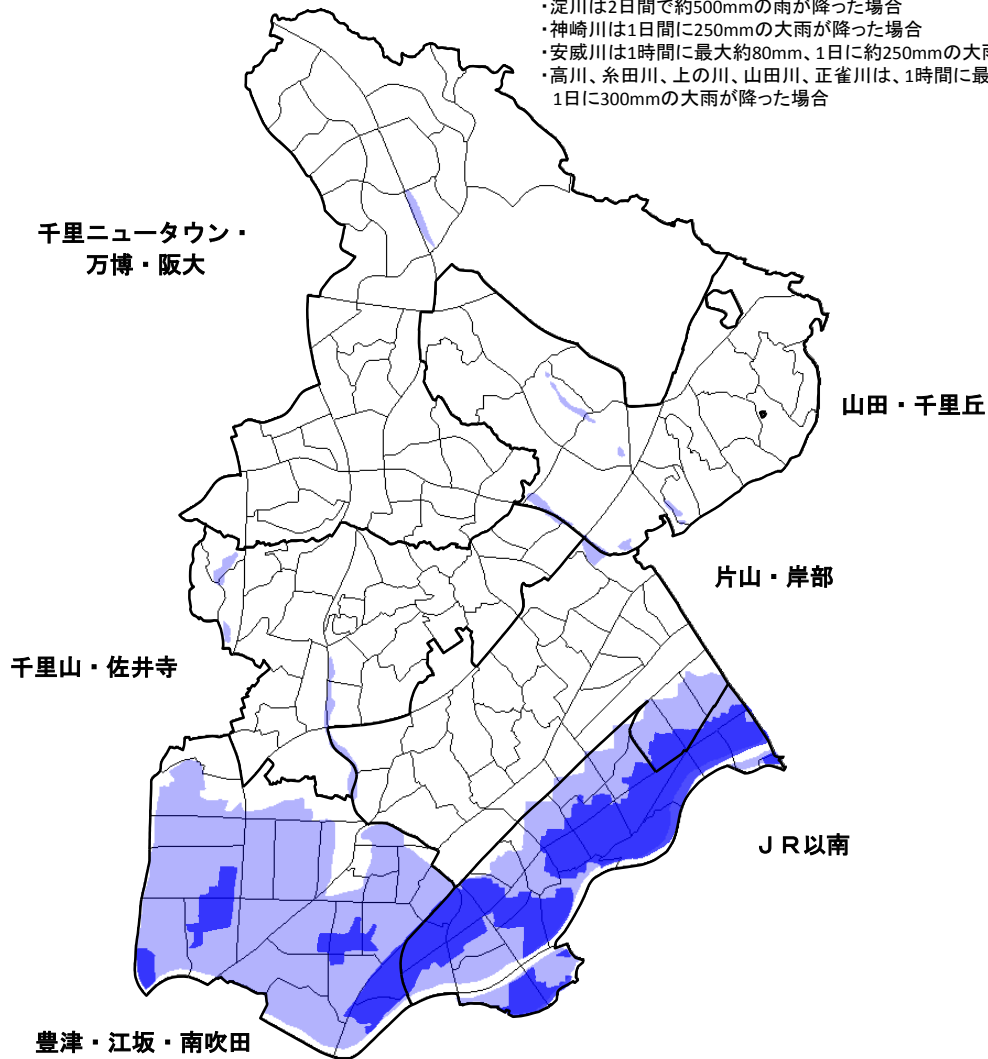
(資料) 吹田市「平成26年度吹田市市民意識調査」から作成

■洪水ハザードマップ

- 浅い水想定区域(深さ2m未満)
- 深い水想定区域(深さ2m以上5m未満)

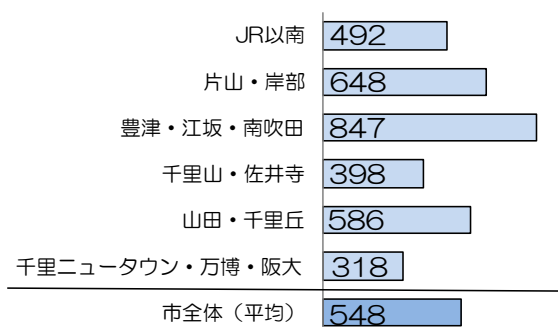
予測条件

- 淀川は2日間で約500mmの雨が降った場合
- 神崎川は1日間に250mmの大雨が降った場合
- 安威川は1時間に最大約80mm、1日に約250mmの大雨が降った場合
- 高川、糸田川、上の川、山田川、正雀川は、1時間に最大約80mm、1日に300mmの大雨が降った場合



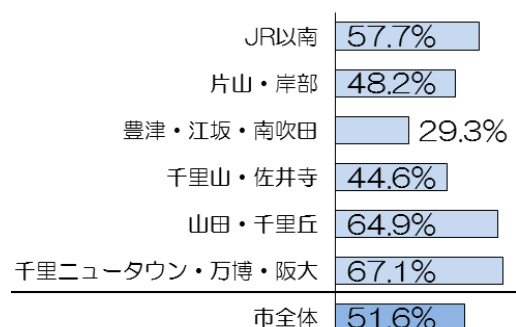
(資料) 吹田市「吹田市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)」(平成28年)から作成

## ■犯罪発生件数



(資料) 吹田警察署「平成 28 年吹田防犯協議会支部別犯罪発生件数」から作成

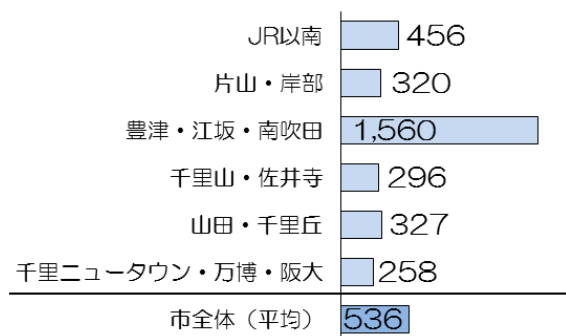
## ■自治会加入率



(注) 数字は、地区ごとの総世帯数に対する自治会加入世帯数の割合を示す。

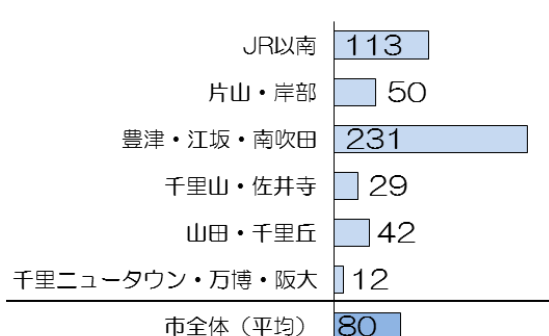
(資料) 自治会加入世帯数：吹田市資料 (平成 28 年 4 月 1 日)  
総世帯数：住民基本台帳人口 (平成 28 年 3 月末日)

## ■卸売業、小売業事業所数



(資料) 総務省「平成 26 年経済センサス・基礎調査結果」から作成

## ■製造業事業所数



(資料) 総務省「平成 26 年経済センサス・基礎調査結果」から作成